

平成26（2014）年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程（社会情報学コース・一般選抜）
入学試験問題
専 門 科 目

（平成25年8月19日 14：00～16：00）

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・一般選抜の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は8ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は3枚ある。問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号（例：「第1問」）、選択記号がある場合にはその記号（例：「第2問A」）及び受験番号を必ず記入すること。問題番号、選択記号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏 名	

社会情報学（一般選抜） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Benkler, Yochai (2006), *The wealth of networks: how social production transforms markets and freedom*, Yale University Press, p. 15

(*) malleable: (of a metal or other material) able to be hammered or pressed permanently out of shape without breaking or cracking.

(1) 下線部(a)の“these”の指す内容を説明しなさい。また、それらの内容に即して、“the emergence of a new folk culture”とあなたが考える事例を挙げて説明しなさい。(合計400字程度)

(2) 下線部(b)に関して、著者が論じる「文化の民主化」について説明しなさい。また、文意に沿って、マスメディアとインターネットが文化に与える影響の異同を述べなさい。(合計800字程度)

社会情報学（一般選抜） 第2問

以下の（A）から（F）までの中から1問を選択し、選択した問題の記号を解
答用紙に明記の上、答えなさい。

（A）情報・メディアに関する法制度をめぐっては、近年におけるインターネットの利用の拡大によって、さまざまな問題が提起されている。

（1）そうした問題の具体的事例について、以下の囲みの中の4つの語句のうちから2つの語句を用いて、かつ、関連する日本の法令の条文及び判例を挙げながら、600字程度で説明しなさい。

表現の自由	検閲	プライバシー	著作権
-------	----	--------	-----

（2）（1）で説明した具体的事例に対して、複数の解決策を提示した上で、あなたが妥当と考える解決策を選択し、その選択の根拠を述べなさい。字数は、600字程度とすること。

（B）2011年11月28日夜、沖縄県那覇市内の居酒屋で、当時の防衛省沖縄防衛局長と地元記者団の懇談会が行われた。「ここは完オフ（完全オフレコ）で」という局長側の宣言で始まり、その場でのやり取りは記事にしないとの了解が、双方の間にできていたという。しかし、地元紙の『琉球新報』は、翌日の朝刊でこの懇談会の内容の一部を報道した。記事は、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）移設に関する環境影響評価書の提出時期をめぐり、「（女性を）犯す前にこれから犯しますよと言いますか」と局長が発言したとする内容だった。他社もこの発言を29日夕刊で追隨して報道し、局長は更迭された。また、野党からは当時の防衛相に問責決議が提出された。

（1）『琉球新報』が防衛省沖縄防衛局長の発言を「オフレコ」を破って報道したことについては、賛成する意見と反対する意見があった。賛成意見、反対意見が主張する根拠を、それぞれ300字程度で述べなさい（合計600字程度）。その際、文中には以下の囲みの中の5つの語句をすべて使い、各語句には初出の際、必ず下線を引くこと。

取材源の秘匿	国民の知る権利	報道の自由	権力の監視	公共性
--------	---------	-------	-------	-----

（2）（1）の賛成、反対両論に鑑みて、あなた自身の考えを600字程度で述べなさい。

【（C）は次頁】

(C) 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

(1) 日本では、これまでは選挙運動に関してインターネットの利用は禁止されていたが、2013年4月に公職選挙法が改正され、インターネットを利用した選挙運動が部分的に解禁された。選挙運動でのウェブサイト利用を全面解禁し、一般有権者がソーシャルメディアで特定の候補者を応援したり、逆に批判するなどの落選運動をしたりすることも可能となった。但し、選挙運動用の電子メールを送信できるのは候補者と政党のみに限定された。

諸外国の事例なども参考にしつつ、インターネットの選挙運動利用に関して、期待される効果と弊害について600字程度で論じなさい。

(2) 次の対話を参考にして、インターネットにおける匿名性と政治との関係について600字程度で論じなさい。

A 例えば君は、インターネット上に無数にある、政治問題についての掲示板(BBS)やメーリング・リストやニュースグループを見たことがないのか。国際問題から、ある町の町づくりの問題に至るまで、あるいは財政問題から環境問題に至るまで、実に多くの場所で、人々が活発に議論している。

B 大方は、無責任な床屋政談のたぐいだと思うがね。なるほど、わかった。君もまた、ITバブルに踊らされている一人なのか。ネットワークなどというわけのわからない、実体のないものに入れ揚げて、どうすると言うんだ。そんなところで、ちゃんとした政治的討論ができると思ったら、大間違いだ。

A ずいぶん言い方だな。君は、実際にそういうところで、人々と議論したりしたことがあって、その上でそう言っているんだろうな。

B いや、そんなことは、やってみなくてもわかるさ。昔から、トイレのドアとか教室の机とかには、各種の落書きがしてあるものだ。中には、ちょっと気の利いたものもある。しかし、そういうのを相手にして政治をやるべきではない。なぜかって。それは、匿名の議論というものは無責任だからだ。ネットワーク上の書き込みを落書きと一緒にすると、君は怒るだろうが、そこには重要な共通点がある。誰が書いたかわからない、ということだ。もちろん、筆名のようなものはあるんだろうが、堂々と本名を名乗っているわけじゃない。

(出典) 杉田敦『デモクラシーの論じ方—論争の政治』(筑摩書房、2001年)。

【(D) は次頁】

(D) 企業の立地について、以下の問いに答えなさい。

- (1) シリコンバレーに見られるように、企業が特定の地域に集中して立地することがあるが、それには立地企業にとってどのようなメリットがあると考えられるか 400 字程度で論じなさい。
- (2) 他方、スマートフォンの製造に見られるように、多数の国に分散して立地する企業が連携して一つの製品を供給することがあるが、それには立地企業にとってどのようなメリットがあると考えられるか 400 字程度で論じなさい。
- (3) 以上に挙げた集積、分散それぞれの状況について情報通信技術がどのような影響を及ぼしていると考えられるか 400 字程度で論じなさい。

【(E) は次頁】

(E) 他者から依頼を受けた際に、依頼のされ方で受け易さに差があることが知られている。下の表に示した実験の結果を見て、以下の(1)から(3)までの問いに答えなさい。

交通安全を呼びかける大きな看板を庭に設置してくれるよう依頼を受けた人が、その依頼を受諾した率には、条件によって差があった。

条件1では、事前に交通安全を訴える小さなシールを窓に貼ってくれるよう依頼し、受けてもらってから2週間後に交通安全を訴える大きな看板の設置を依頼した。条件2では、環境美化を訴える小さなシールを窓に貼ってくれるよう依頼し、受けてもらってから2週間後に交通安全を訴える大きな看板の設置を依頼した。条件3では事前にはなにも依頼せずに、ただ交通安全を訴える大きな看板の設置を依頼した。

表 実験条件と結果

	事前の依頼の有無と依頼内容	依頼を受諾した率
条件1	事前の依頼あり (同じ交通安全を呼びかけるシールを貼る)	76.0%
条件2	事前の依頼あり (環境美化を呼びかけるシールを貼る)	47.8%
条件3	事前の依頼なし	16.7%

(出典) Freedman と Fraser が 1966 年に *Journal of Personality and Social Psychology* (vol. 4, pp. 195-202) に発表した論文に基づく。

- (1) 条件3は統制群として設けられた。この統制群を設けることの意味を、この実験の結果に即して200字程度で説明しなさい。
- (2) 条件3と条件1の結果を比べて分かること、ならびになぜそのような違いが生じたかについて、500字程度で述べなさい。
- (3) 条件2を加えたことで分かることについて、あなたの考えを500字程度で述べなさい。

【(F) は次頁】

- (F) 「社会」を観察の対象とする社会学の調査研究において、研究対象となる出来事・事象・集団をどのようにカテゴリー化するかということは、極めて重要な問題であると認識されてきた。たとえば、あなたが「ある学級内での「不良」の人とそうでない人の勉学に対する態度の相違」を質問紙を用いて調査しようとした場合、態度の相違の内実を分析する以前に、何らかの形で「不良の人」というカテゴリーを操作的に定義しておかないと、そもそも不良の人とそうでない人とを「数え上げる」ことができない場合もあるだろう。この方法論的な問題に関して以下の問いに答えなさい。
- (1) 操作的定義 (operational definition) とはどのようなものか。100 字程度で説明しなさい。
 - (2) E. デュルケームは、「われわれはある行為を犯罪だから非難するのではなく、われわれがそれを非難するから犯罪なのである」と論じ、以後の社会学的な犯罪研究に重要な知見をもたらした。このデュルケームの言葉の含意を、操作的定義に基づく犯罪論との差異を念頭に置きつつ、400 字程度で説明しなさい。
 - (3) 哲学者、思想史家の I. ハッキングは、「ある方法で分類された人々は、自分たちが分類された通りに変化してゆく傾向にある。しかし同時に、彼らの変化していくにつれて、分類と記述は絶えず改訂されねばならない」(邦訳『記憶を書きかえる』早川書房、30 頁) という事態に「ループ効果」という名称を与えている。このループ効果の実例と考えられる事柄を挙げつつ、「ループ効果」について 700 字程度で説明しなさい。

社会情報学（一般選抜） 第3問

以下の(a)から(f)までの6つの群から一つの群のみを選択し、その群に列記されている5つのカナ記号（(ア)～(オ)）のうち3つを選択して、選択した用語の意味を、それぞれ400字程度で説明しなさい。その際、必ず選択したアルファベット記号及びカナ記号を解答用紙に明記すること（これらのアルファベット記号及びカナ記号が記載されていない解答は無効とする）。

(a)

- (ア) ポポロ劇団事件最高裁判決
- (イ) 反論権
- (ウ) 児童ポルノの規制
- (エ) EU データ保護規則案の「忘れられる権利 (right to be forgotten)」
- (オ) 電気通信事業におけるユニバーサル・サービス (universal service)

(b)

- (ア) 正力松太郎
- (イ) ファンダム研究 (fandom studies)
- (ウ) PSB (Public Service Broadcasting)
- (エ) ユルゲン・ハーバーマス (Jürgen Habermas) の『公共性の構造転換—市民社会の一カテゴリーについての探究』(*Strukturwandel der Öffentlichkeit: Untersuchungen zu einer Kategorie der bürgerlichen Gesellschaft*)
- (オ) ヘイトスピーチ

(c)

- (ア) 民主化の第三の波 (the third wave)
- (イ) ポリアーキー (polyarchy)
- (ウ) 国際政治学におけるネオリアリズム (neorealism)
- (エ) 国際関係における従属理論 (dependency theory)
- (オ) アラブの春

【(d)、(e)及び(f)は次頁】

(d)

- (ア) 加速度原理
- (イ) マネタリー・ベース
- (ウ) オープン・データ
- (エ) ギッフエン財
- (オ) ヘクシャー＝オリーンの定理

(e)

- (ア) 自己開示の返報性
- (イ) コミュニケーションの2段階の流れ
- (ウ) マクガイア (W. J. McGuire) の接種理論
- (エ) 標本誤差
- (オ) CMC 研究における社会的存在感

(f)

- (ア) 地位の非一貫性
- (イ) 焦点の定まらない相互作用 (E. Goffman)
- (ウ) 機能的等価物 (R. Merton)
- (エ) フーコー (M. Foucault) の「統治性」
- (オ) アクティブ・インタビュー